

事例

6

商品の自動包装機導入による業務効率化と作業精度向上

【所在地】長野県

【従業員数】5~9人

【事業の種類】クリーニング業

【課題と対応】業務効率の向上が課題であるため、利益を改善させるための工夫や、人材の採用・定着・昇給を進めるような体制づくりを行ってきた。

従来、商品の包装作業は従業員の手作業で行っていましたが、作業に時間がかかるとともに、突発的な作業には従業員が残業して対応していました。そこで、助成金を活用して商品の自動包装機を導入しました。

商品包装に要する
業務効率化のため、
包装作業を自動化したい



社長

<導入前>



商品包装を自動化したことで、担当者を他業務に配置

<導入後>



技術や設備の進歩は日進月歩であり、常々最新の技術動向や展示会情報を入手して店舗での運営に生かしている。

- 商品包装を自動化することで、担当者を商品分類業務へ割り当て、分類作業の精度向上と全体作業の削減につながった。
- 商品包装にかかる時間の短縮によって生産性が向上し、1人の従業員の時間給(最低賃金)を40円引き上げた。

助成金活用のポイント

商品の自動包装機を導入したことで、業務効率化と包装以外の業務の作業精度向上につながった。

(※平成27年度時点の制度に基づく事例)